

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	白馬村に存在する氷河の観光資源化に向けた事業
事業主体 (連絡先)	白馬村役場観光課 0261-85-0722
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,925,110 円 (うち支援金: 3,555,000 円)

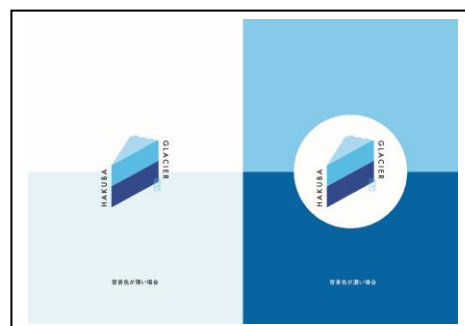
事業内容

観光活用

・ロゴの制作および今後の活用について検討会議を行った。

氷河調査

・氷河である可能性が高い不帰沢、杓子沢及び白馬沢について、白馬村教育委員会が新潟大学に調査研究を委託し、白馬山案内人組合等の協力を得ながら安全に配慮して調査を実施した。



【氷河ロゴ】

【目標・ねらい】

- ① 認知度の向上
- ② 観光 PR
- ③
- ④

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

観光活用

・来年度の不帰沢雪渓と杓子沢雪渓の氷河認定に伴い、今回作成したロゴマークを報告会や学習会にて公表することにより氷河に対する認識を向上させる。

氷河調査

・調査により認定に向けた必要データの取得
・村文化祭において氷河調査に関する展示を行い、来場した多くの住民に氷河の存在や調査の概要を周知した。

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・ロゴ、タグラインの制作。
- ・氷河認定に向けて必要なデータを取得し、認定される可能性が高くなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ロゴを活用したポスターや商品の開発に取り組む。
- ・令和4年度までの調査結果について、令和5年度に報告会を開催し、住民や事業者など地域内外に広く成果を発信する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある